



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長

細谷 俊夫

幹 事 伴

誠

会報・雑誌委員長

床井 光雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3078号 2025年1月28日(晴れ) 第28回例会 会員数100名

ハイブリッド例会



点 鐘 細谷 俊夫 会長

司 会 副SAA 谷田部(勝) 会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

◇本日のランチ 小付 煮物 サーモンピカトマト
ソース添え 香物 汁 御飯 デザート

会長挨拶

細谷俊夫会長

皆さん、こんにちは。日曜日に田崎会長エレクトと金子次年度幹事と共にRLIの3回目に行き、無事終了しました。このバッジがその証拠です。1992年にアメリカのニュージャージー州で始まり、2008年に日本でも導入されたRLIも今回で修了者100名を超えたそうです。ロータリアンとして、大変有意義な時間を過ごせますので、皆さんも是非参加してみてください。ちなみに、RLI(Rotary Leadership Institute)とは、ロータリー・リーダーシップ研究会のことで、ロータリー・リーダーシップ研究会は、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための、草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。但し、RLIはRIの正式なプログラムではありません。又、RIの管理下にもおかれていませんが、RIが承認している多地区合同のプログラムです。RLIの目的、RLIの使命は将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的です。私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動をするためには、ロータリアン一人一人がロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。

最後に今日の卓話は、パスト会長の青木格次会員の「旭日小綬章を受賞して」です。旭日小綬章とは、日本国政府が公共の利益に貢献した個人に授与する勲章だそうです。青木パスト会長、卓話をよろしくお願ひいたします。

◇RI2550地区・地区委員委嘱状の授与

< 2025 ~ 2026 年度地区委員 >

羽石光臣会員 諮問委員、運営委員

太城敏之会員 諮問委員、運営委員

田原 聖会員 公共イメージ委員会委員

山中和弥会員 RLI委員会 FT委員

手塚正智会員 RLI委員会 FT委員

片嶋常隆会員 RLI委員会 FT委員

小林弘治会員 RLI委員会 FT委員

高野藤房会員 ロータリー平和フェロウシップ委員会委員

松山 栄会員 ローターアクト委員会委員

野添将嗣会員 国際奉仕委員会委員

◇ロータリークラブ訪問報告 石川(元) 会員

先日、第2760地区の名古屋和合RCとバナーの交換を致しましたので、ご報告いたします。



幹事報告

伴幹事

◇米山記念奨学会からの感謝状

米山功労クラブ表彰

◇来週2月4日、職業奉仕の事業で、宇都宮東警察署において優良警察官表彰を行う予定。

◇ 米山奨学生の何秦尼さんの文星芸術大学卒業制作展が1/30(木)～2/3(月)、栃木県総合文化センターで開催。是非ご来館を。

駒場会員からご挨拶

この度は、私の母、そして元会員の長野榮夫の妻、長野澄子の葬儀に際しまして、皆様にご厚志を賜りまして誠にありがとうございました。



委員会報告

◇ スマイルボックス委員会
渡邊有規会員

SAA代読

1月26日の大人の休日にて、なんと、私が優勝をさせていただきました。メンバーと運に恵まれて、心より感謝申し上げます。ハンディは42.5点でした。



卓話

「旭日小綬章を受章して」



青木格次会員

皆さん、こんにちは。昨年の暮れにプログラム委員長の菊地さんより「叙勲の話をしてくれないか」と頼まれました。菊地さんも4年ほど前に受賞され卓話されているので、私にも、との事でしたので、有難く御受けいたしました。尚、私の叙勲は一昨年令和5年秋の叙勲です。その節はハイキング同好会の皆さんに授賞祝賀会を開催して頂き、有難うございました。その時の叙勲体験記が面白かったので、良かったらもう一度!との事ですので、2年前を思い出しながら話をさせていただきます。

その前に、私が頂いた旭日小綬章とは何か?について少し紹介させていただきます。2年前の令和5年9月14日に叙勲内定の連絡を頂きましたが、「小綬章…何だそりゃ?」と軽心で受け流しましたが、後で調べてみると勲4等の大変な勲章です。勲章には大きく2種類、旭日章と瑞宝章があります。①旭日章は明治8年に制定された最初の勲章で顕著な功績をあげた者に授与されます。旭日大綬章、重光賞、中綬章、小綬章、双光章、単光章の6種類で、議員、首長、企業経営者などで、原則70歳以上の個人に授与されます。②瑞宝章は明治21年に制定され、公務など長年にわたり従事し、成績を上げた者に授与され

ます。同じように、瑞宝大綬章～単光章まで6種類で、国家公務員や国の関連機関、鉄道や陸運、海運、航空等の多岐にわたり、個人に授与されます。また勲章とは別に褒章があります。褒章とは長年にわたり、その道一筋に打ち込んできた人や公共の福祉や文化、芸術などに貢献した人、また人命救助に尽力した方々で、個人が対象となります。代表的には黄綬褒章/農林水産商工業分野、紫綬褒章/文化芸術分野、緑綬褒章/福士・ボランティア分野、藍綬褒章/民生委員・保護司の方、紅綬褒章/人命救助等、警察、消防関係の方々です。年間の受賞者数ですが、春秋併せて叙勲が約8,000名、褒章が約1,500名で合計約9,500～9,600名です。ちなみに私が受賞した令和5年の栃木県秋の叙勲では、旭日小綬章4名、双光章11名、単光章3名で計18名、瑞宝章は少し人数が多く40名で合計58名でした。また褒章では16名の方々が受賞されました。選考は、国の関係府省が都道府県、市町村、関係団体から推薦された方の中から決定されます。私は1級・2級建築士の資格者団体である(一社)栃木県建築士会の推薦を受け、長年の功績を認められての受賞でした。経済産業省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、総務省から防衛庁、消防庁、警察庁と、国全体の関係府省毎に受賞者を決定しますので、毎年多くの方が対象となります。また中綬章以下の勲章伝達式は都内のホテルなどで関係府省が個別に開催する為、数日にわたり開催されるとの事です。私は国交省管轄で東京プリンスホテルでしたが、他にも、ホテルニューオータニや帝国ホテル、ホテルオークラ、品川プリンスホテル等で開催され、春と秋の叙勲はどこのホテルも朝から大盛況との事です。

いよいよ、私の体験談に入らせていただきます。令和5年11月12日朝11時、明日の叙勲に備えてホテルニューオータニに到着。部屋は思い切って新婚旅行以来の贅沢にと、メイン棟10階にとり、衣装合せ、2付けや写真撮影の打合せ、館内散策と慌ただしく過ぎました。11月13日早朝5時起床、朝食後、私はモーニングの着付けですが、女房殿の着付けは既に数名の先客がおり、待ち時間を入れて約2時間かかりました。その後、タクシーで勲章伝達式の東京プリンスホテルへ!何と国交省関係の受賞者、旭日章が51名、瑞宝章が252名で計303名、夫人同伴ですので約600名、ホールも会場も満員で、モーニング姿のおじさんと礼装和服姿のおばさんで溢れかえっています。9時に受付しましたが、開会式まで約2時間待たされて、11時に式典が開始しました。大臣挨拶の後、賞状と勲章の伝達式です。303名、一人一人名前を呼ばれまして、御名御璽の入っ



た賞状と勲章を頂きました。約1時間半かかり、12時半終了。会場内で弁当での昼食後、大型バス13台でいざ皇居へ!午後1時半頃、坂下門から入場し、中門から望む長和殿前の一般参賀用の広場に駐車しました。厚生労働省や消防庁関係のバス約20数台も待機中です。ここで又約1時間半バス内で待機し、午後2時45分、やっと入場許可が下りました。長和殿から入って長い廊下を歩くのですが、途中で記念撮影が終わった厚労省経章者の500名近くの方々とすれ違いました。私達、国交省関係の後は消防庁関係との事でした。陛下拝謁は日に数回行われるとの事です。午後3時15分、春秋の間にて天皇陛下拝謁。「ご起立ください、陛下ご入場です。」の一声に600名全員が直立不動でお迎えました。「皆様のお陰で今日の日本国があります。ご苦労様でした。これからも日本の為にご活躍をお願いいたします。」のようなお言葉を頂き、陛下はご退出。時間にして6~7分

です。私の席は幸い前から2列目で陛下の斜め前の為、退出時に目が会い、思わず会釈をするとニコッと返してくれました。小さい頃から徳仁親王(通称ナルちゃん)をTVで拝見していたので、思わず「陛下お元気で!」と叫びたくなりました。陛下退出後、南溜にて約50名のバス毎のグループに分れて記念撮影、午後4時過ぎに無事終了。この後再びバスにて東京プリンスホテルへ戻り、ここで解散!タクシーでニューオータニへ午後5時に戻り、最後の力を振り絞って夫婦の記念写真撮影。午後8時、重い荷物をぶら下げて宇都宮に戻ってきました。陛下拝謁は僅かな時間でしたが、とても長い長い一日でした。

最後に、叙勲、褒章を頂くと沢山の方々から祝電や手紙、生花やご祝儀等が届きます。また、関係団体や友人、知人達が祝賀会を開催してくれます。本当に皆様、ありがとうございました。